

【活動の主題】 We Love 読書

【学校名】 米原市立大原小学校

## 1 本校の概要

学校評価において、読書に関する児童・保護者の肯定的評価指数は例年低く、子どもたちの読書離れの状況は深刻であると言っている。

そこで、このような状況に歯止めをかけるため、読書環境の改善を図ることをねらいとして、本事業に申請をさせていただいた。いただいた助成金により、多くの書籍を購入させていただき、次のような取組を進めることができた。

## 2 取り組んだ内容

### (1) 図書室の「あたらしい本」コーナーなどで紹介

学校図書館の蔵書は、学習での調べ物に活用したり、昼休みに開放して貸し出しを行ったりしているが、入口に「あたらしい本」コーナーを設置して、絶えず新刊が子どもたちの目に触れやすいようにした。これは、学校司書が担当しているが、今回購入させていただいた本も、この新刊コーナーを通じて、子どもたちにお披露目を行った。また本校は、図書ボランティアによる朝の読み聞かせを行っているが、新しい本の紹介も兼ねて、今回購入させていただいた本を読み聞かせしていただいた。



### (2) 子ども同士による読み聞かせの実施

上学年の児童が、下学年の児童に読み聞かせをする取組を行った。上学年の児童は、国語科での学習にお

いて、下学年の子が楽しめるような本をそれぞれが見つけ、グループで話し合っよりよい本を選定した。この際も、今回購入させていただいた本を活用することができた。上学年の読み聞かせを下学年の児童は楽しみながら聞き、上学年へのあこがれをもつことができた。上学年の児童にとっても、読み聞かせをするために多くの本に触れるよい機会となり、また、喜ぶ下学年の姿を見て自己有用感を高めることができた。



## 3 活動の成果

こうした取組の成果として、今年度の学校評価における読書に関する肯定的評価指数は、児童の自己評価では昨年度から 1.5 ポイント上昇した。一方で、保護者に向けた同項目においては昨年度から 6 ポイント減少するという結果であった。

これらの結果を受け、次年度以降は以下の取組を行っていききたい。

まず、児童について、学校図書館で個人で借りるだけでなく、学級文庫としてそれぞれが選定し、学級内で読み合えるようにさせたい。また、国語科等の教材と連動して並行読書を行わせる等、目的をもって読書をする機会を設け、本に触れる機会を充実させていきたい。

また、家庭での読書の機会を増やす取組に着手し、学校でも家庭でも、子どもたちが本に親しむ機会を創出していきたいと考えている。そのために、学校司書と連携しながら、図書館便りによる発信等を充実させていきたい。